

避難者通信 第30号

皆さん、お元気でいらっしゃいますか？

この3月に「自主避難者」に対する家賃の全額補助が打ち切られて早3か月が過ぎました。福島県の半額補助なども極めて形式的複層的書類が求められ、「支給」手続きもまだ終了せず、決定通知自体が未だに避難者に届きません。

これに伴い、沖縄県の家賃補助も執行することが出来ず、かつ、民医連・医療生協が実施して下さる避難者支援の医療費窓口無料化の恩恵も受けることが出来ていません。

勿論、毎月求められる家賃はきちんと支払いわなければならない状況で、手続きの遅延は直接的に家計を圧迫しています。

「ぬちどう宝」を文字どおり命を掛けて実践している避難者の皆さんは、生活費のやりくりで「これでやって行けるかしら？」と苦しい思いをしているのではないかと心配です。チェルノブイリ周辺3か国と比較して、日本の住民の人権の軽さをつくづく痛感しています。

避難者の皆さん、苦しいところ、耐え抜いてください。耐え抜いて「個の尊厳」を守り通しましょう。

国策としての強制帰還に屈しないで、頑張り通しましょう。

チェルノブイリ周辺国の被曝量20倍の規準で復興・帰還を強行しようとしている政府と福島県の元に、福島県民、学童・生徒、県・市町村役場の労働者には大きなストレスがかかり、いじめによる自殺や、役所公務員の自殺など、眼を覆いたくなる悲惨な状況が現れています。

事実は隠されようとしています。戦前の侵略戦争を遂行した時代の市民どおしの監視社会を連想せざるを得ない状況も多く報告されています。

放射能の用語の代わりに風評被害、内部被曝を避けて健康を守る代わりに「食べて応援」、実状を心配する人々に対する侮蔑用語「放射脳」などが監視社会を象徴しています。市民の皆さんは大きなストレスにさらされています。

もし帰ることを真剣にお考えの方は、このような実状をもう一度お確かめになって、くれぐれも人格権を全うする当たり前の市民の願いをお捨てにならないように祈っています。どうか複雑な関連を判断し決断するうえで、苦しい時を乗り切ってください。

今回は座間味の「古民家ゆうみはうす」より訴えが有りますのでご覧ください。保養施設の立ち上げにさらにご協力いただければ、とても助かります。

よろしく願いいたします。

矢ヶ崎克馬

【座間味の保養施設をぜひ応援してください！】

4月より沖縄県の慶良間諸島、座間味の保養施設をスタートしております「古民家ゆうみはうす」です。

以前、矢ヶ崎先生のメールでもご紹介していただき沢山の方から施設へのご連絡や備品の

提供、温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。

保養に来られた方も大自然に癒されながら、古民家の縁側に座ってお茶を飲んだり、カヤで寝ることを楽しんで過ごされており、皆様からいただいた備品も活用させていただいております。

当該古民家は急峻にそびえる裏山を擁し、琉球としては超一級の格式を持つ風格ある屋敷です。しかし、施設は長年人が済まない状態でしたので、雨戸の木は腐ってきており、台所はカビにやられ、石垣は崩れるなど様々な場所の修繕が必要でした。

ボランティアの方や地元の方は文字どおりの手弁当で施設の手直しをしてくれていますが、資材等の購入は極めて厳しい状況にあります。

この点について皆様のお力添えをお願いいただければこの上なくありがたいものです。

チェルノブイリの経験では、事故後 6 年目からいろいろの健康被害が急増いたしました。

今後保養を必要とする方々はますます増える模様で、政府や行政が予防的措置を取っていない現状では、保養施設を維持することは人道上不可欠と信じます。

どうか温かいご支援・ご寄附を宜しくお願いいたします。

お手数おかけいたしますが、下記の振り込み郵貯口座にお振込みください。

また、当保養施設「古民家ゆうみはうす」では一般の方の宿泊の受け入れも格安で行なっております。ご利用いただく事で、保養施設の維持・改善につながりますので、ぜひいらっしやってください。

HP も是非ご覧下さい。

以上、宜しくお願いいたします。

【寄附振込先】

ゆうちょ銀行

記号 17060

番号 18434921

口座名義 コミンカホヨウプロジェクト

【古民家ゆうみはうす HP】

<http://mothersea-project.org/zamami/>

【お問い合わせ】

zamami.kominka@gmail.com